

第 6 7 回彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会 議事概要

1 日時

令和 2 年 1 1 月 1 3 日 (金) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 4 5 分

2 場所

埼玉会館 6 階 6 B 会議室

3 出席委員

及川委員、齊藤委員、早坂委員

4 審議事項及び結果

1 9 県南部地域特別支援学校 (仮称) 新築工事 都市整備部営繕課

【一般競争入札(W T O)(総合評価)】

(質疑応答)

- 本件はインクルーシブ教育を標榜しようとする新しい特別支援学校の建設であり、教育施設に対する配慮、福祉的な使用者等の利便に関する配慮、更に隣接する高等学校の授業運営に支障をきたさないような配慮が求められると考える。

現状では、こういう建設工事に対して、入札の技術基準が一般的な建設工事規模等の経験に留まっているように見受けられる。

また、課題として提示している内容にも、そのような知見を持っていることや、改めて学ぶ意欲等を求めるような、建築物の特性に応じた要件を取入れる工夫があっても良いと思うが、その点についてどう思うか。

今回の工事においては、バリアフリーをはじめ、柱の角を緩やかにしたり、窓に転落防止用の柵を設ける等、生徒の安全性を配慮した建築設計になっている。そのため、入札参加業者自体には、特別な条件を求めている。

貴重な御意見をいただいたので、これを参考にし今後は必要に応じて、検討していく。

W T O 案件というのは世界に開かれた市場というものをベースにしていると思うが、海外の企業は入札参加候補者にどれくらい含まれているのか。

入札参加者名簿の範囲内では、外資系企業の候補者が 1 者含まれている。

国内にはどれくらいの規模で入札参加できる海外業者がいるのか

日本の公共事業を行うには、経営事項審査を受けることで W T O 入札に参加できる。そのため、規模については不明である。

現在工事中か。コロナの影響は受けずに済んでいるのか。

現在工事中であり 1 2 月に工事が終わる予定である。感染防止対策を行った上で施工する等の影響があったが順調に進んでいる。

電子媒体による技術資料の提出について、業者に提出させる電子媒体のウイルスチェックは業者にて行わせていると思うが、提出された電子媒体のウイルスチェックは埼玉県側でも行っているのか。

発注者側でもウイルスチェックを行い、ウイルスに感染していないことを確認した上で、ファイルを読み込んでいる。

(結果)

当案件の入札・契約手続は適正に行われていた。

総選除) 019水整第851号 高坂中継ポンプ所自家用発電機設備更新

工事 企業局水道整備事務所 【一般競争入札(総合評価)】

(質疑応答)

令和3年3月完成とあるが予定どおり進んでいるか。

順調に進んでいる。

総合評価方式における社会貢献の実績について、これらの点数は、県で定めているのか、それとも国で定めているのか。

県にてガイドラインを作成して定めており、内容については別の委員会の意見を踏まえて決定している。

見直しはどれくらいの頻度で行い、内容はどれくらい変わってくるものなのか。

毎年行っている。内容については基本的には大きくは変わらないが、社会情勢を加味し、適宜変更している。

入札結果について、金額が最安値の業者が落札しているが、他者が落札していた場合でも、工事は可能だったのか

どの業者が落札していたとしても、施工は行えると考えている。

また、今回の入札は総合評価方式であり、「除算方式」という計算方法を用いており、技術評価点を入札価格で割った数字が最も高い業者を落札者としている。

今回は除算方式だったため、この業者が落札したということか。

そのとおりである。除算方式と加算方式があり、一般的に、金額がある程度高い案件には除算方式を用いている。

総合評価方式は、金額のみの入札ではなく、技術的な評価等についても加味しなければならないため、一般的に手間と時間がかかる。

入札結果において、他者の入札金額や技術評価点等を確認できるのか

入札結果の情報閲覧ができるようになっており、価格や総合評価値などの情報が事後確認できる。

(結果)

当案件の入札・契約手続は適正に行われていた。

総 加) 中川流域処理場汚泥脱水機棟汚泥貯留槽防食工事

下水道局中川下水道事務所 【一般競争入札(総合評価)】

(質疑応答)

変更契約の理由は何か。

工事途中において、過去に防食をした際の既設被覆材が確認され、その撤去処分等のため、工期の延長及び工数の増加を行った。

入札結果における総合評価の技術評価点について、A社とC社の間に6点の差があるが、こういったところで差が出ているのか。

施工実績や社会貢献の実績、障害者雇用及び優秀工事施工表彰の有無で違いが出ている。

C社とD社との0.5点の違いは何か。

信頼性、配置予定技術者及び優秀工事施工者表彰の有無の違いの合算で、この点数差がついた。

今回は防食工事についてだが、定期的なメンテナンスが必要になるということか。

そのとおりである。

メンテナンスはどれくらいの間隔で行うのか。

おおむね10年程である。

施工実績の条件で「供用中の下水施設の土木構造物で1回の契約金額が2千5百万円(税込)以上の修繕、耐震補強または防食工事」とあるが、こういった理解でよいのか。

今回の工事は供用中のものであり、第2種酸素欠乏危険作業主任者の選任を要するなどの条件を必要としていることから、使用中の施設における工事实績のある業者を求めている。

この施設限定で実績のある業者という意味ではなく、供用中の施設について、実績のある業者を条件としているという意味でよいか。

そのとおりである。

「既設被覆材が確認された」とあるが、情報を管理できていれば当初設計から見込むこともできたのではないか。今後は、必要な情報を蓄えてほしい。

御意見を参考にさせていただき、引き続き、工事履歴の蓄積に努めていく。

(結果)

必要な工事情報の更なる蓄積について検討してほしい。
当案件の入札・契約手続は適正に行われていた。

令和元年度発注工事に係る審議事案の抽出について(追加) 総務部入札課

(質疑応答)

随契2号を抽出した理由は何か

随意契約2号は、性質又は目的が競争入札に適さないものであり、この業者でなければ工事ができない等の理由で随意契約するものである。その代表事例として本工事を抽出した。

原案の1件は以下の【抽出工事一覧】のとおり決定した。

【抽出工事一覧】

- ・ 110 本庁舎中央監視装置改修工事
(随意契約2号、総務部管財課)